

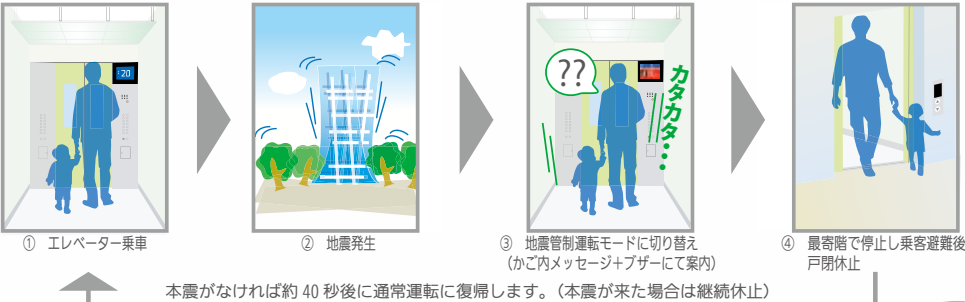
乗客の安全確保のために 地震時管制運転

2009 年の法改正により、地震感知器の設置および管制運転の装備が定められました。地震を感知した場合、エレベーターを最寄り階に停止させ、乗客を素早く避難させます。

● 地震に備える

製品特徴

■地震感知器には、初期微動用の P 波センサーと主要動（本震）用の S 波センサーがあります。初期微動は揺れが伝わる速度が速く揺れが小さいという特徴があり、主要動は揺れが伝わる速度が遅く揺れが大きいという特徴があります。P 波感知器を設置する事で、主要動が来る前にエレベーターを最寄階に停止させ、安全な避難が可能になります。また S 波センサーには 2 段階の設定があります。



作業内容

■作業工程

- ・ご契約から納品まで約 2 ～ 3 カ月程度です。
(生産状況で前後します。)
- ・作業時間は 3 ～ 6 時間程度です。
(建物状況によって異なります。)

■作業内容

地震感知器設置工事、制御盤改造工事、
各機器間の配線工事

地震感知の設定値

建物高さ	地震感知器の設定値 (Gal)			
	P 波	特低	低	高
60m まで	2.5 5 10	—	200 (頂部設置) 80 (底部設置)	300 (頂部設置) 120 (底部設置)
60m を超え 120m まで		40 (60m ～ 90m) 20 (90m ～ 120m) (頂部設置)	100, 120 (頂部設置) 80 (底部設置)	120, 150 (頂部設置) 120 (底部設置)
120m を超える		長尺物振れ感知器を適用	40, 60, 80, 100 (頂部設置) 80 (底部設置)	60, 80, 100, 120 (頂部設置) 120 (底部設置)

※すでに地震時最寄階着床運転が設置されている場合でも法改正以前のものは一部適合していない場合がありますのでご相談ください。



S 波感知器



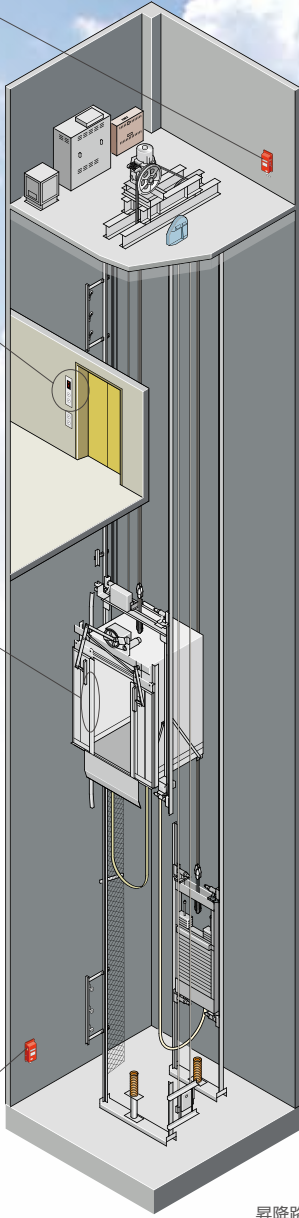
乗場表示例



かご内表示例



P 波感知器



昇降路構造図

Earthquake Operation